

岐阜大学医学部看護学科教育プログラムに関する卒業生の満足度調査の結果報告

1. はじめに

本学の教育が卒業後の看護実践でどのように役立っているか、看護実践に活かされる内容であったかを評価し、その結果をカリキュラム内容や教育方法の見直し、改善・充実に反映させることを目的に教育プログラムに関する卒業生の満足度調査を実施した。

また、本学は、2022 年度に日本看護学教育評価機構（Japan Accreditation Board for Nursing Education ; JABNE）の、分野別認証評価を受審し「適合」との評価をいただき、さらなる教育プログラムの改善に活かすために実施した。今後は毎年卒後 3 年目の卒業生および雇用先に調査を依頼し、キャリアの実態および動向を把握して、看護学科のカリキュラムや教育プログラムの改善に活かしていきたい。

2. 基本情報

- (1) 調査期間：令和 6 年（2024 年）6 月～7 月
- (2) 調査対象：令和 6 年度の時点で卒後 3 年目になる岐阜大学医学部看護学科の卒業生（令和 3 年 3 月卒業）
- (3) 調査方法：卒業時、学務係が把握している調査対象者のメールアドレス宛に「卒後満足度調査票」をメール配信し、無記名 Web アンケート形式で回答を得た。
- (4) 回収状況：
配付数：76 名、回収数：11 名、回収率：14.4%

3. 結果

1) 岐阜大学医学部附属病院以外に就職した卒業生対象

(1) 対象者概要

① 背景

		単位：名 (%)	
平均年齢	n=11	24.0年	
平均勤務年数	n=9	2.1年	
性別	n=11	男性	0 (0)
		女性	11 (100.0)
職種	n=11	看護師	9 (80.0)
		助産師	2 (20.0)
		保健師	0 (0)
		養護教諭	0 (0)
		その他	0 (0)
雇用形態	n=11	正規雇用	11 (100.0)
		非正規雇用	4 (3.1)
役職	n=11	役職なし	11 (100.0)
		その他	0 (0)

② 卒業年度

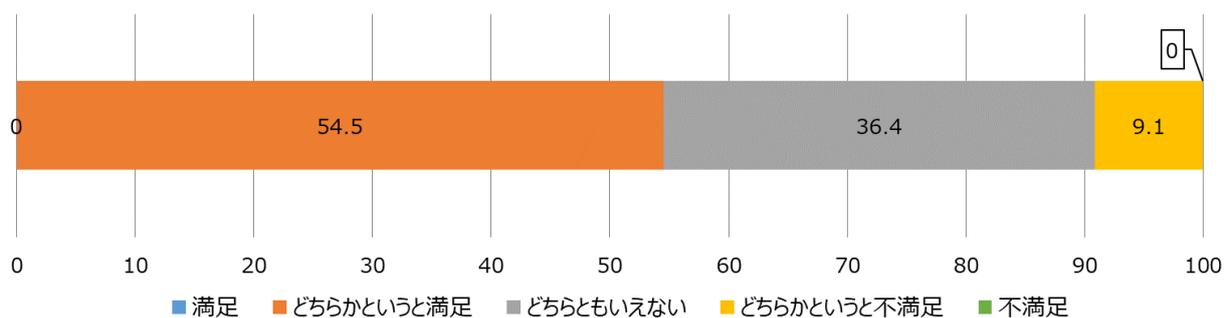
n=6		
年度	人数 (名)	割合 (%)
2020	6	(100.0)

③ 経験部署

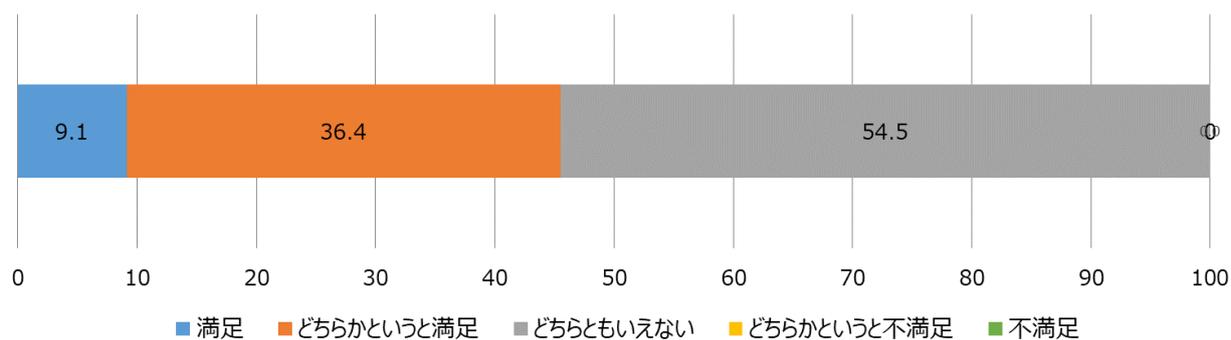
n=11		
部門及部署	人数 (名)	割合 (%)
放射線・泌尿器・総合内科	1	(10.0)
精神科	0	(0)
消化器外科	0	(0)
消化器・血液内科	1	(10.0)
内分泌・免疫・神経内科	0	(0)
整形外科	2	(20.0)
眼・脳神経外科	1	(10.0)
口腔外科・耳鼻科	0	(0)
循環器・呼吸器外科	0	(0)
循環器・呼吸器内科	2	(20.0)
小児科	1	(10.0)
産科・NICU	3	(30.0)
救命センター	0	(0)
ICU	1	(10.0)
手術部	1	(10.0)
外来部	0	(0)
看護部	0	(0)

(2)-2 満足度調査結果 (単位%) n=11

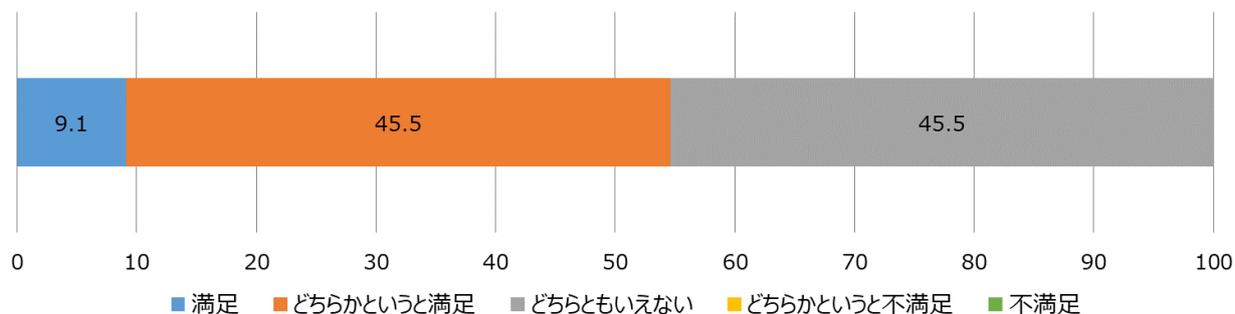
質問項目①：教養科目の講義内容は臨床で活かせる内容でしたか。



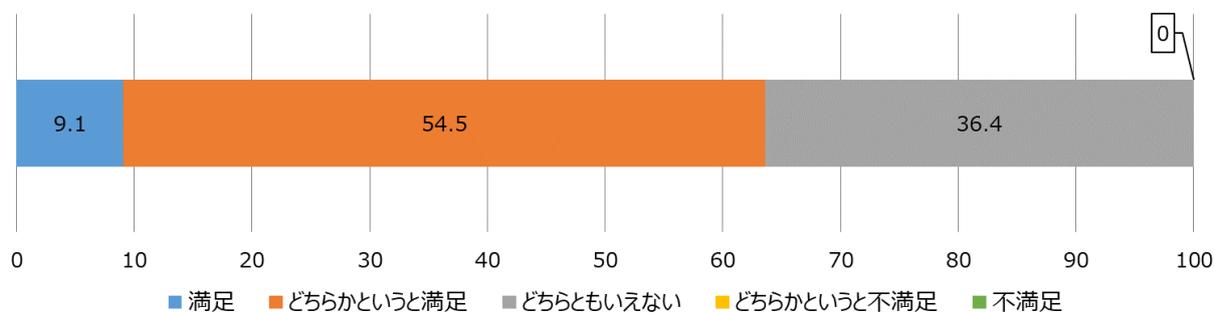
質問項目②：専門科目の講義内容は臨床で活かせる内容でしたか。



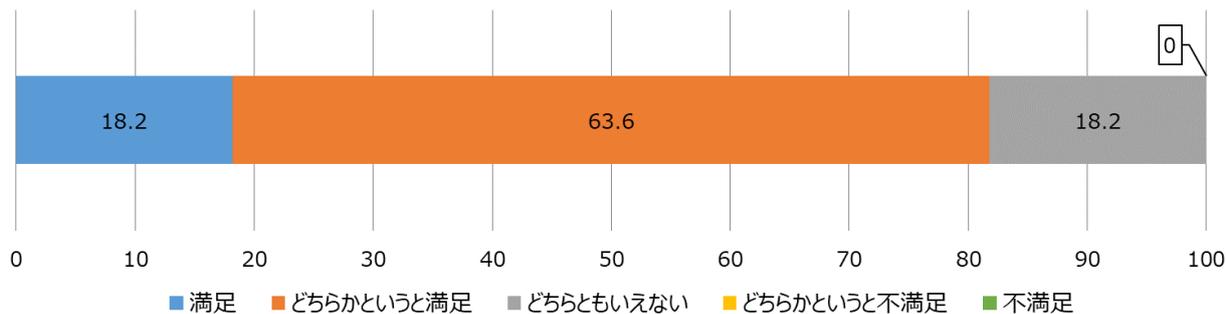
質問項目③：専門科目の演習内容は臨床で活かせる内容でしたか。



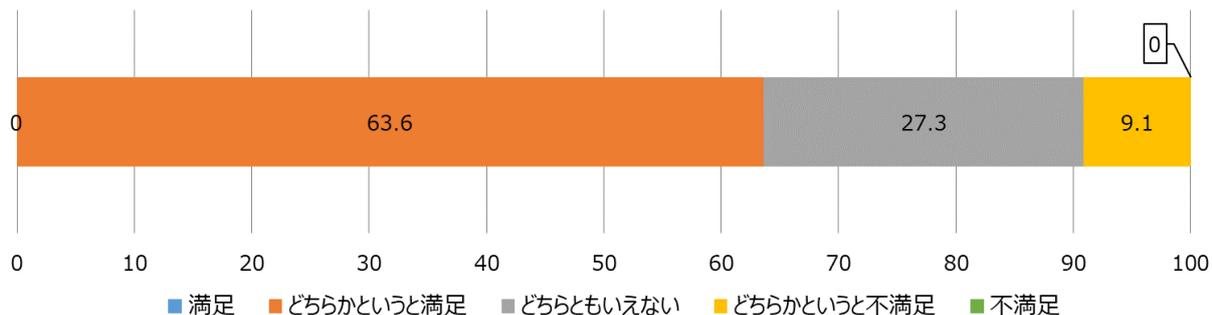
質問項目④：臨床実習の内容は臨床で活かせる内容でしたか。



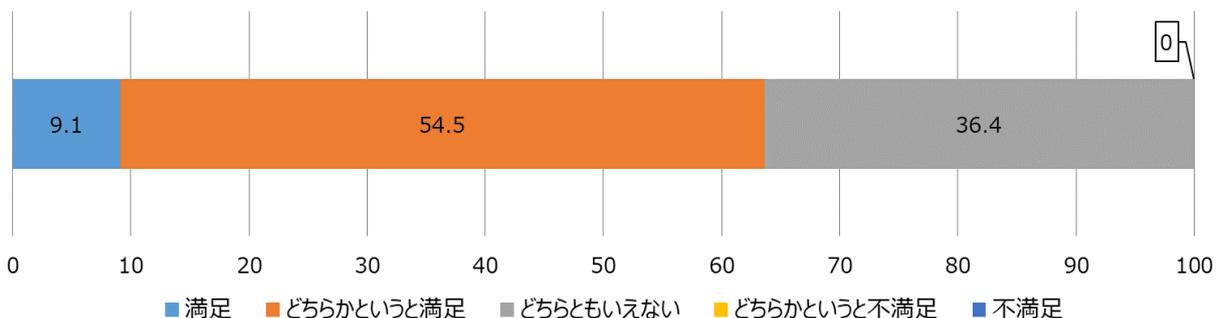
質問項目⑤：実習施設は実習目的・目標を達成するのにふさわしい施設でしたか。



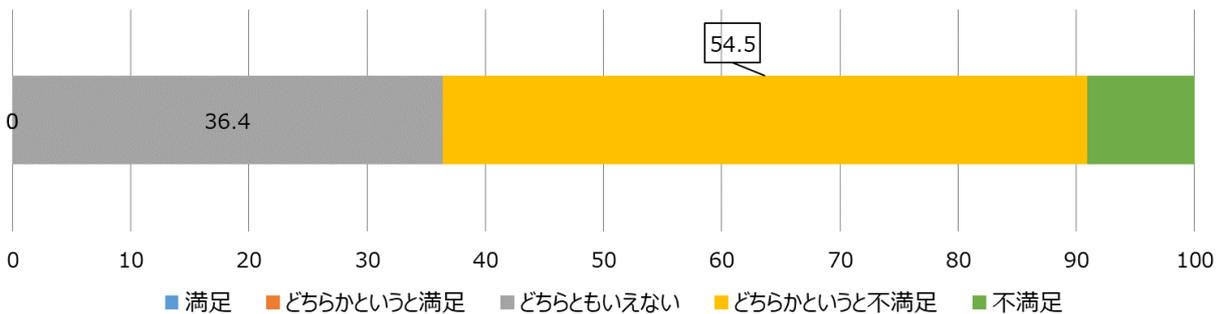
質問項目⑥：卒業研究は研究の基礎的能力を身につけるのに役立つ内容でしたか。



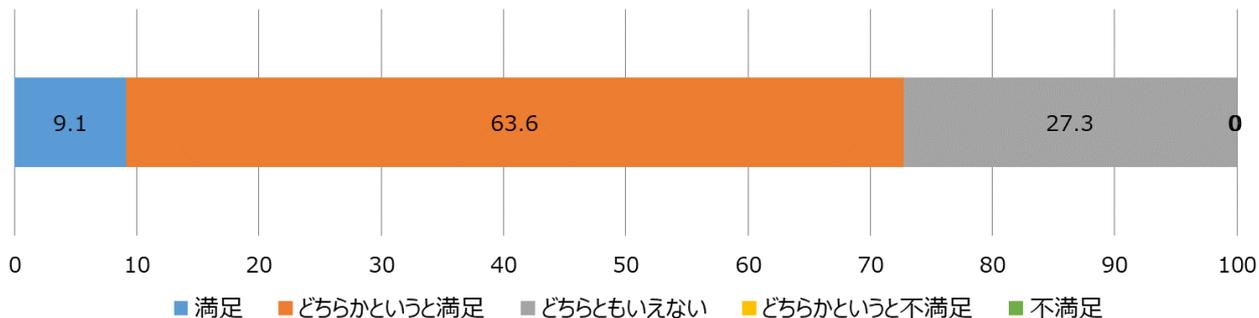
質問項目⑦：本学科の教育カリキュラムは臨床に活かせる内容でしたか。



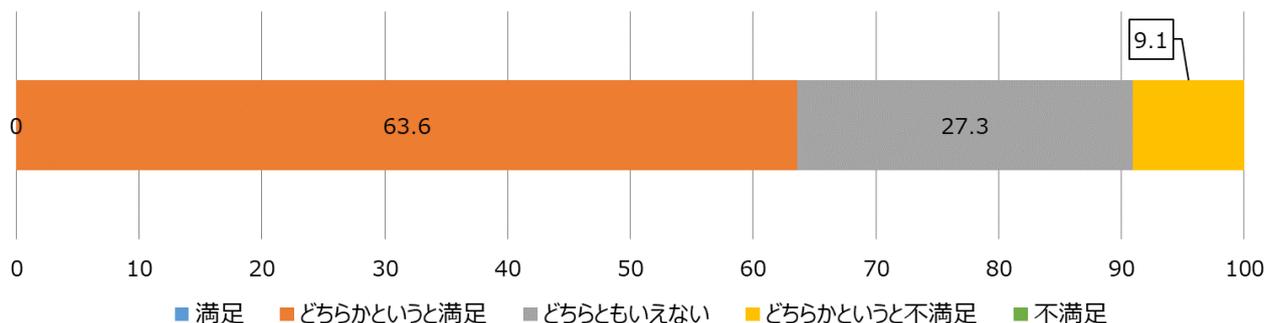
質問項目⑧：本学科の教育プログラムは、人々の尊厳と権利を擁護できる能力が獲得できるような内容でしたか。



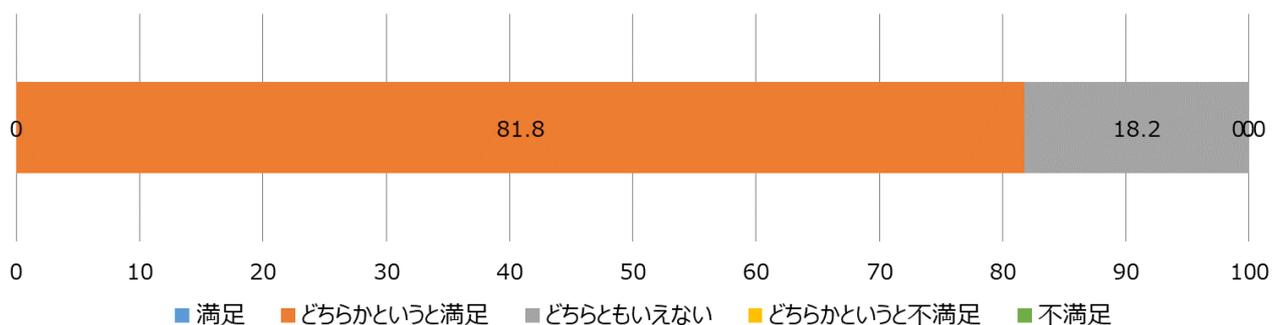
質問項目⑨：本学科の教育プログラムは、総合的・全人的に人間を理解する能力が獲得できるような内容でしたか。



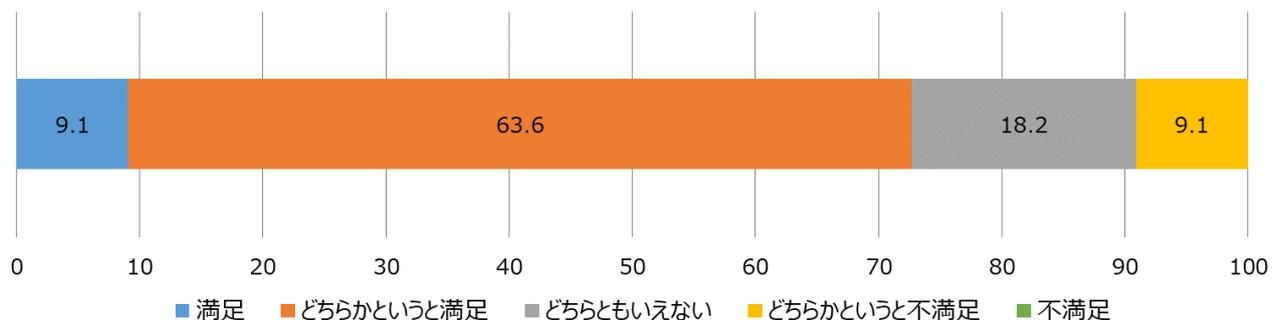
質問項目⑩：本学科の教育プログラムは、自主性かつ創造力を持ち、主体的に判断・実践ができる問題解決能力が獲得できるような内容でしたか。



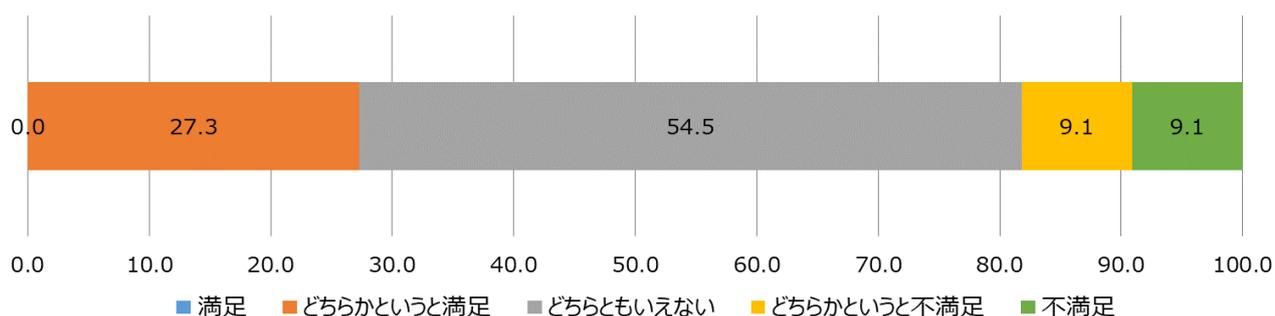
質問項目⑪：本学科の教育プログラムは、看護専門職として看護の質向上を目指し、継続して専門的能力の向上に取り組んでいける能力が獲得できる内容でしたか。



質問項目⑫：本学科の教育プログラムは、看護の役割を認識し、保健医療福祉における協働と連携をする能力が獲得できる内容でしたか。



質問項目⑬：本学科の教育プログラムは、国際的な視野と地域医療への貢献を視野に入れた看護を発展できる能力が獲得できる内容でしたか。



(3) 進学について

① 修士課程への進学希望の有無

n=11

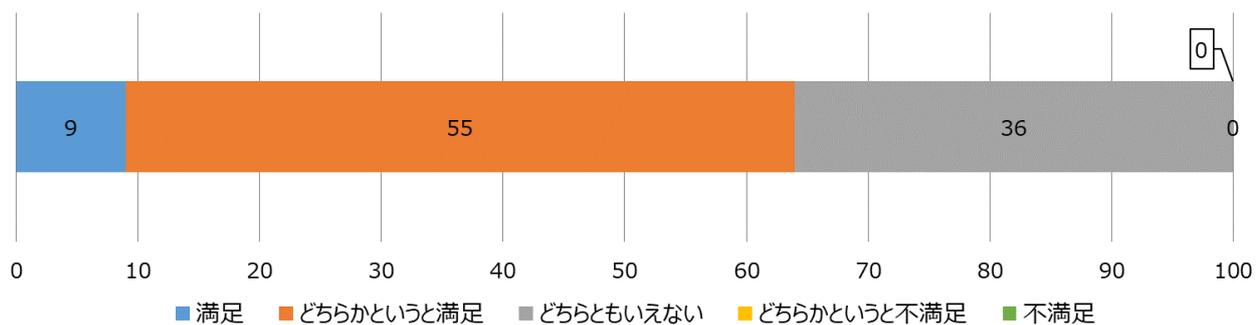
	人数 (名)	割合 (%)
希望する	0	(0)
希望しない	10	(91.0)
現段階ではわからない	1	(9.0)

② 修士課程を「希望しない」と回答した理由

複数回答可 n=13

	人数 (名)	割合 (%)
特に必要を感じないから	6	(50.0)
臨床で働いていたいから	4	(30.0)
大学院の内容で興味をもてるものが少ないから	1	(10.0)
経済的理由のため(学費などが高額だから)	1	(10.0)
既に修士の学位を取得しているため	1	(10.0)
大学院修了後の就職上の利益がないと思うから	0	(0)
その他	0	(0)

(4) 総合的満足度 n=11



4. おわりに

本調査は、令和3年度に岐阜大学医学部看護学科を卒業した卒業生76名に実施した。卒業生からの評価や意見は教育改善に重要な資料となる。卒業生の皆様からいただいた評価、またご意見、ご指摘を教育活動に活かしていきたい。

お忙しい中、多くの質問に丁寧にご回答いただいた卒業生の皆様に心より御礼申し上げます。